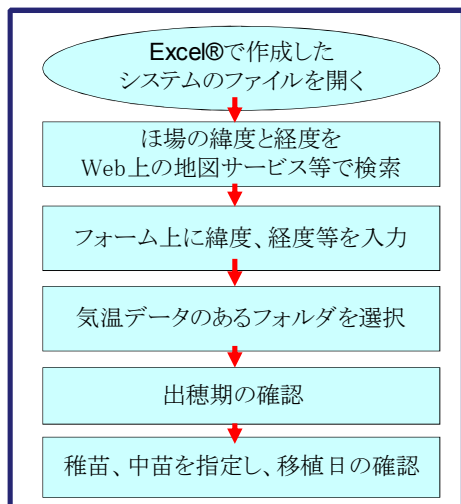


「いつ植えるか？」に応える 山田錦最適作期決定システム

【背景・目的・成果】近年、酒米の最高峰「山田錦」は高温の影響を受け、玄米の品質劣化、酒造りにおける品質変化が問題となっています。そこで、「山田錦」の品質を守るために、稲穂が実る時期の高温を回避でき、酒造りにも適する田植え日を予測する「山田錦最適作期決定システム」を開発しました。

1. 本システムの使い方



2. 操作の主な手順

「Google Maps™ 地図サービス」の活用例

「緯度、経度」をコピー＆ペースト

「予測結果とグラフ」がシート上に表示

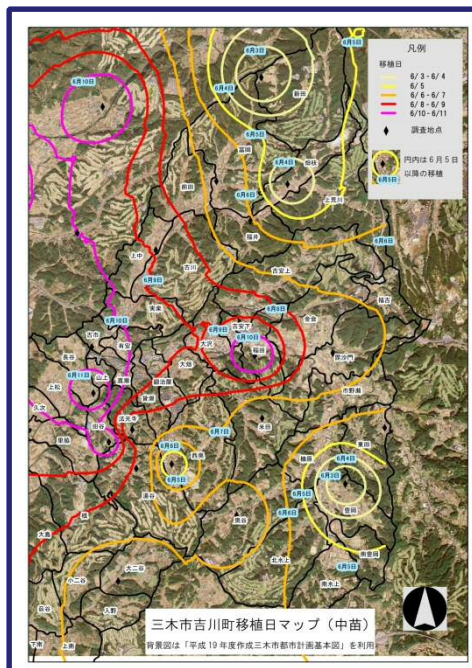
1:中苗
北緯34.89636 度 東経134.95256 度

移植日は、6月18日以降です。

出穂日は9月5日
出穂日の気温は、25.1度

3. システムの活用例

詳細な地形要因を反映させて予測します。



【技術の活用】移植日は平年値(1996~2010年の平均気温)において、出穂後11~20日の平均気温が23℃以下になるように予測します。予測日以降に移植すると、平年値において高温障害が軽減され、望ましい酒造適性をもつ良質米の生産が期待されます。